

浪江中だより

平成30年度 第31号

2019. 1. 8

文責 校長 嶋原 俊洋



教育目標

- 自ら探求的に学ぶ生徒
- 礼儀正しく、節度ある生活をする生徒
- 健康で、安全な生活をする生徒
- ◇ 自分に自信を持ち、行動できる生徒（今年度重点目標）



意義深い有終の3学期を迎えて

5月からは新しい元号となり、10月からは消費税も上がるという変化の激しい2019年がスタートしました。皆さん明けましておめでとうございます。穏やかな天候の下、すがすがしい気分新年を迎えられたことと推察いたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年は生徒にとっても浪江中にとっても大きな節目を迎える年です。3月で休校となり、歴史に幕を下ろす浪江中。4月から新たなステージで新たな生活を送る生徒たち。この変化にかかわるすべての人々のことを考えると、私自身、身の引き締まる思いで新年を迎えました。残り少ない時間ではありますが、まずは生徒たちの次へのステップに向けて全力で取り組んで参ります。

以下は〔第3学期始業式〕で生徒に話した内容の抜粋です。



12/19 ドローンを見上げて

3学期のスタートにあたり二つお話しします。

一つ目です。この3学期は君たちにとって大きな節目の時期となるでしょう。4名全員が4月から始まる新しい学校生活に向けて、今までの自分を越える、殻を破る、そんな自分を変えるべき背伸びをする時です。同じ自分ではダメです。自分自身の意識の中に変革を起こし、行動することで殻を破ってください。「変わる、変える、変えてやる」と自分に言い聞かせて、新しい自分づくりに取り組んでほしいと思います。大きな背伸びでなくてかまいません。例えば、授業の挨拶をいつもより大きな声でしてみる。例えば一日一つ、誰かのために何か役立つこと、ありがとうと言ってもらえることをしてみる。そんな小さな変化を積み重ねて新しい自分を作っていくてください。そして、変わった自分に自信をもって4月の新しいステージを迎えてほしいと思います。

二つ目です。日々感謝の心を忘れずに、残り少ない浪中での生活を送ってください。今、自分の周りにはいる家族、友人、先生。これまでお世話になった先輩、講師としてお出でになった皆さん、地域の方々。そして会ったことはないけれど、ずっと浪中を見守り支援・声援を送り続けてきてくれたの方々。そんな人々への感謝の気持ちを忘れず、この3学期を過ごしてほしいと思います。休校のお知らせを差し上げたある方からこんな言葉をいただきました。「学校はなくなってしまうかもしれませんが、私たちはずっと浪江中学校を応援していますからね、これからも忘れませんからね」と。とてもありがたく、胸に響く言葉でした。

皆さんは一人で成長してきたわけではありません。こんなにも多くの人々に支えられていることに感謝して浪中最後の学期を生活してほしいと思います。